

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL. 29

開催地：八代市麦島校区

平成 19 年 9 月 19 日（水）、八代市麦島校区（会場：麦島東西町集会所）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	22 名
市外	2 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・スライドの過去の洪水の写真について、説明された地名が違うのではないか。
- ・H18.7 の萩原地区の洪水時に萩原地区何 m³/s 流れたのか。
- ・萩原堤防の深掘れについて、スライドの説明箇所では何m掘れているのか。また、スライドの説明箇所が一番危険な箇所とのことだが、何故工事をしないのか。
- ・計画高水流量 7,800m³/s とのことだが、これまで（現状では）八代は 7,000m³/s しか流せないと言われていたが、なぜ変わったのか分からない。（目標が）1/80 から 1/100 に変わった理由も教えて欲しい。
- ・洪水調節する量がなぜ人吉では 3,000m³/s で八代では 2,100m³/s なのか。
- ・流量調節について、電源開発（発電）での流量の違いは考慮しないのか。
- ・川辺川ダムの話は無かったが、基本方針や報告会と川辺川ダムの関係を説明して欲しい。

【球磨川の治水対策について】

- ・いろいろな方法で洪水から守るのは当然だが、大自然の力は止められない。川もきれいにし、洪水からも守るといった両面からの対応を考えて欲しい。
- ・ダムを前提としているように聞こえたが、できればダムではなく自然の力で洪水から守ることを考えて欲しい。
- ・S40 年の萩原の堤防が崩れた写真があったが、昔ここに旅館があって、その旅館が崩れる状況を目の前で見た。洪水から守るのが大事か、環境が大事か難しいところではあるが、下流に住んでいるので備えあれば憂いなしということでダムを造って欲しい。ダムを造って魚が泳ぐような環境もつくといいことをしてもらいたい。
- ・前川橋から八代大橋の間は堤防が低いが大丈夫か。今後、堤防を整備するなどの計画はあるか。

【球磨川の環境について】

- ・球磨川と前川が分かれるところの堤防でハエなど魚がよくとれていたが、釣れなくなった。
- ・ヘドロが堆積し、干潟の面積が小さくなっているのではないか。昔はハマグリなどを取っていたが、今はとれない。干潟の変化について断面図で示して欲しい。
- ・水質について、行政の縦のつながりだけでなく、行政おしの横のつながりというのはどれくらい進んでいるのか。魚がいないことは、これまで、生活優先ということで川にいろいろなものを流してきたことが原因だと思うが、横のつながりや今後の対応について、河川局（国土交通省）としての考えを聞かせてほしい。
- ・生活排水の処理の仕方については、河川局（国土交通省）としてもシビアな指導が必要と思うがいかがか。
- ・堤防、ダム、堰を造った後に河床の状態はどうなっているのか。また、造った後のメンテナンスをどのように考えているのか。ここに来て 13 年になるが、球磨川も前川も川の中に島がたくさんでき、大きくなったと思う。こうしたことについて意見を聞きたい。
- ・水無川について、海に流れるところで乳白色のネコのおしっこのような臭いがする廃液が工場から流されている。是非調査してもらい、国からも指導して欲しい。

【その他】

- ・萩原の天神ばねが昔は出ていたが、今は見えなくなった。なぜか。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

